

ホクコークリンチャー™ 1キログラム粒剤

■種類名：シハロホップブチル粒剤
 ■有効成分：シハロホップブチル-----1.8%
 ■PRTR法指定物質：シハロホップブチル [第1種] -----1.8%

■登録番号：第19192号
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：1996.04.25
 ■性状：類白色細粒
 ■有効年限：5年
 ■包装：1kg×12袋、10kg×1袋

【特長】

- 移植後7日～ノビエ4葉期、は種後10日～ノビエ3葉期まで使用可能(1kg/10アール処理の場合)なヒエ用除草剤。
- イネ科雑草に極めて高い殺草力を発揮する一方で移植栽培・直播栽培を問わずイネに対して高い安全性を有している。
- 10アール当り1kg 処理でノビエの4葉期まで、1.5kg 処理で5葉期まで有効(移植水稲)。

【適用内容】(2018年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	ノビエ キシュウスズメノヒエ アゼガヤ	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	1kg /10a	本剤 2回以内 シハロホップブチル 3回以内	湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる 散布
		移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで	1.5kg /10a		
直播水稲	ノビエ	は種後10日～ノビエ3葉期 但し、収穫30日前まで	1kg /10a		
		は種後25日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	1.5kg /10a		

*本剤及びシハロホップブチルを含む農薬の総使用回数

【効果・薬害等の注意】

- 本剤はノビエの4葉期(1.5kg/10a 散布では5葉期)まで有効なので時期を失しないように散布すること。
- 広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 散布に当っては水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm程度)で均一に散布すること。特に、ノビエ5葉期散布の場合は水深を5cmに調整すること。散布後3～4日は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 漏水田(減水深2cm/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので、使用しないこと。
- キシュウスズメノヒエ防除は展開葉が水面に接する条件で使用すること。
- アゼガヤには、草丈20cmまで有効なので時期を失しないように散布すること。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 本剤はその殺草特性から、とうもろこし、食用びえ、ソルガムなどのイネ科作物の生育を阻害するおそれがあるので、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。散布器具等の洗浄水は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整すること。
 - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布すること。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
 散布後は水管理に注意すること。
 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。